

## 徳島県における乳幼児RSウイルス重症化予防対策 — 2021年の経過報告と2022年の方針について —

徳島大学病院 周産母子センター副センター長  
中川竜二

乳幼児のRSウイルス(以下RSV)感染症の重症化予防の薬として、パリバズマブ(シナジス®)が使用されています。人工的に合成されたモノクローナル抗体であるため効果は永続せず、1カ月に1回の筋肉注射が必要で、早産児などハイリスク児に対して流行期(およそ8カ月間)に投与することが推奨されています。

全国のRSVの流行状況は、かつては冬期にピークがありましたが、2017年からの3年間は7月に流行が始まり、9月から10月に流行のピークを迎え、冬期にはピークアウトしました。この状況を踏まえて日本小児科学会は、2019年に「都道府県ごとに各年度の投与開始月を統一することが望ましい」「各都道府県内で周産期医療やその他パリバズマブ投与に関わる小児科医等が中心となって審議し、投与開始月と投与期間・回数などの検討を行うことが望ましい」とのガイドラインを発表しました。それをうけ、2020年3月の本協議会において、本県におけるパリバズマブ投与時期についてご検討いただき、以下のような方針で御了承をいただきました。

- (1) 徳島県においては7月1日よりパリバズマブ投与を開始し、翌年2月末までを標準的な投与期間とする
- (2) 標準的な投与回数は8回を目安とする
- (3) 終了時期については流行状況に応じて柔軟性をもって対応する

### 【RSVの流行状況】

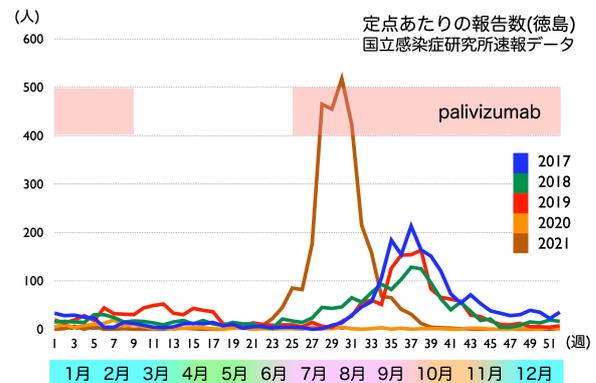
2020年は予測と異なり、年間を通じてRSVの流行が見られませんでした。ところが2021年は、夏季に大きな流行がありました。2020年に罹患していなかった多くの乳幼児がRSVに初感染し、大流行に繋がったものと思われます。

### 【2021年に行ったこと】

過去の流行パターンが崩れた現状で、RSV流行を予想することは困難で、国立感染症研究所が行っている「感染症発生動向調査」の「週報・定点あたりの報告数」とり、徳島県の「週報・徳島県感染症発生動向調査」<sup>2)</sup>をこまめに参照し、臨機応変に対応するのが現実的だと考えます。Yamagamiらは計算式を用いて各都道府県のRSV流行開始の目安を報告しており、それによると本県は定点あたりの報告数が「1.00」を超えた時点で流行開始とみなされます<sup>3)</sup>。

2021年の本県の定点あたりの報告数は「第19週：0.13」「第20週：0.09」「第21週：0.43」「第22週：0.35」「第23週：0.96」と推移しました。第21週のデータがでた時点で、徳島県小児科医会(会長：田山正伸

### 徳島のRSV報告数(2017～2021年)



先生)のメーリングリスト(ML)で投与時期について意見を募り始め、第23週(6月7日～6月13日)のデータが確定した6月17日(木)の時点で、第24週には流行開始の目安の「1.00」を超える可能性が高いと判断し、6月21日(月)からシナジス投与を開始することとしました。投与開始の前倒しは徳島県小児科医会MLで通知し、さらに県小児科医会広報担当の田口義行先生が、医会員にFAXで重ねて通知して下さり、また社保審査委員と国保審査委員の先生にも連絡をとって下さりました。医会員ではない基幹病院の先生方には個別で連絡を取りました。その結果、流行開始に乗り遅れることなくパリバズマブ投与を開始することができました。

この現状を踏まえて、2022年の本県のパリバズマブ投与方針をご検討いただきたく存じます。私案として、

- (1) 2022年は「7月1日投与開始」の方針を踏襲する
- (2) 2022年6月までに定点あたりの報告数が「1.00」を超え流行開始と判断された場合、対象となるハイリスク児は投与を検討する
- (3) 標準的な投与回数は8回を目安とする
- (4) 投与時期が「7月から翌年2月」を大きく外れた場合は、症状詳記の添付を考慮する

ご検討のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます

### 【参考】

1. 国立感染症研究所. 感染症発生動向調査 週報 IDWR. <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>
2. 徳島県. 週報-徳島県感染症発生動向調査-<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kenko/kansensho/2005022800148/>
3. Yamagami H, Kimura H, et al. Detection of the Onset of the Epidemic Period of Respiratory Syncytial Virus Infection in Japan. Front Public Health. 2019 Mar 7;7:39